

STAGE 02, "熱病の温度差" 1

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
	//イオン登場
イオン	ふむふむ…… これはこれは…… なるほどなるほどー。
	もしかして、オレ…… アンタらに無理矢理、 ステージを仕掛けたのか？
キョータロー	おーす。 先に来てたんだな、 【ユーザー名】。
キョータロー	体調はどうなんだ？ 見た感じ、 なんともなさそうだけど……。
	//選択肢 A 元気だよ B 背中がかゆい
選択肢A	元気だよ
キョータロー	そっか。 なんか気になることあったら すぐ言えよな。
選択肢B	背中がかゆい
キョータロー	そんなもん自分でかけ！ ったく、その調子なら 大丈夫そうだな。
合流	
キョータロー	……まさか、俺らがデビューしてる間に 集団意識消失事件なんてことが 起きてたなんてな。
キョータロー	もしかしたら、お前もあのまま 目を覚まさなかったかも しれねーんだよな……。
イオン	そのことが心配で、 ユーザーさんに毎日コンタクトを 取ってくるのですね、キョータロー？
キョータロー	よー、変なACT。 勝手にログあさってんじゃねーよ。
イオン	わたしはACT 汎用的人間支援を行う、 パーソナルアシスタントAI。
イオン	通信記録、及びライフログの管理は わたしの基本機能であり、役割。 なので、がっつりあさります。
キョータロー	……あっそ。 じゃ、【ユーザー名】の 体調もちゃんと管理してるんだろな？
イオン	もちろんです。 今のところ、日常生活に支障を 来すような症状は確認していません。

キョータロー	ならいいけどよ。 なんか、変な夢を見るって 聞いてたから、気になってさ。
イオン	あくまでも不思議な夢であって、 悪夢ではないそうですよ。
キョータロー	ん、そっか。 じゃ、今のところは 心配はいらねーみたいだな。
イオン	はい。親友の労りに、ユーザーさんも 感激されていることでしょう。 それでは、熱いハグを。
キョータロー	……しねーよ。
	//メール(レイヤードのSNS)の着信音。
イオン	おっ。 ユーザーさんユーザーさん、 さっそく来ました！
キョータロー	おん？ なんだなんだ、なにが来たんだ？
イオン	依頼です。 ユーザーさんは試練として、 様々な依頼をこなします。
キョータロー	うん、だからな。 お前がなに言っているのか サッパリなんだ。
イオン	現場はこの近くのようなです。 すぐに向かいましょう、 ユーザーさん！
	//イオン退場
キョータロー	お、おいっ！？ 向かうってどこに……！？
	■渋谷・街頭
イオン	むむ、いませんね。 情報では、この辺りの はずなんです。
キョータロー	待ってイオン！ 説明をしろ、説明を！ 納得のいく形で！
イオン	他人が開催したステージに 乱入して、勝手に暴れまわる 迷惑なかたがいるそうなんです。
イオン	そこで、ユーザーさんに 対処してほしいとの依頼が、 付近の住民から入りまして。
キョータロー	だから、なんでそこのトラブルを 解決する依頼が来てんだよ、 【ユーザー名】！？
	//選択肢 A 自分もよくわからない B なんだかそういうことになった
分岐A	自分もよくわからない
キョータロー	わからねーのかよ！？ お前のACTが言ってんだぞ！
分岐B	なんだかそういうことになった

キョータロー	あっさり受け入れてんじゃねーよ！？ そういうことって、 どういうことだよ！
合流	
イオン	はっ！ ユーザーさん、あれを！
若い男	お前ら、シカトしてんじゃねーぞ！ オラオラオラあ！
キョータロー	んん？ 威勢のよすぎるヤツがいるな。 あれがその厄介くんか？
若い男	見ろ、俺のステージを…… 見ろ！ 俺のACT操作を！ 俺の表現が、ナンバーワンなんだッ！
キョータロー	あーあー、キちゃってるな。 ま、アレなら放っておいても、 すぐにアカウントデリート……
イオン	参りましょう、ユーザーさん。 ユーザーさんの力で、 彼の理性を取り戻すんです！
キョータロー	はあ！？ なんでそーなるんだよっ！？

話者	台詞 / ト書き
若い男	お、お前らが、 俺のステージを盛り上げる ギミックになってくれるのか？
若い男	へへへ……い、いいぜ。 お前らを使って、俺のACTを 世間のヤツらに見せてやるッ！
イオン	ユーザーさん、ユーザーさん。 相手は、冷静さを欠いています。
イオン	もしかして、オレ…… アンタらに無理矢理、 ステージを仕掛けたのか？
	バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一街頭■
若い男	あ、あれ……？ 俺はいったい、なにを……？
イオン	おお、 落ち着かれたみたいですね。 よかった。
若い男	もしかして、オレ…… アンタらに無理矢理、 ステージを仕掛けたのか？
若い男	す、すまん。 こんなことするつもりじゃ なかったんだが……。
イオン	仕掛けたのはこちらですから、 気にされることはありません。 大事に至らなくて、なによりです。
若い男	そ、そうか、ありがとう。 もうこんなことはないように き、気をつけるよ！
イオン	はい、さようならー。 困ったことがあれば、改めて ユーザーさんのところへー。
	//若い男退場。
キョータロー	……おい、イオン。 これはどーいうことだ？
キョータロー	あんなの放っておいても、 対処してもらえただろ。 レイヤードの監視システム——。
キョータロー	——ヴァルナカウンターだよ。
イオン	システムの決断は、 あくまでもシステムの決断です、 キョータロー。
イオン	他人の決断を待っているだけでは、 英雄は育ちません。
キョータロー	俺はな。なんで暴れるACT使いの 情報がお前らんとこに来るのか、 その理由を聞いてんだよツ。
イオン	ふふ、知りたいですか、 キョータロー？ 本当に知りたいのですか？
キョータロー	うぜえ、焦らすな。 さっさと教えろ。
イオン	わたしが設置した これが、ユーザーさんに 試練を与えてくれるんです。
キョータロー	なんだこりゃ？ 【ユーザー名】の コミュニティチャンネル？
キョータロー	『あらゆるレイヤードトラブルを、 我々がまるっと解決いたします』 だとお！？

イオン	はい。SNS上に、 ユーザーさんのコミュチャンネルを 設置させていただきました。
イオン	これがあれば、じゃんじゃん 依頼が——ユーザーさんが解決すべき 試練が舞い込みます。
キョータロー	試練って…… わざわざトラブル募ってまで、 なんでそんなことさせんだよ！？
イオン	ユーザーさんをより強く、 より認められる英雄にするためです。 それがユーザーさんの使命なので。
イオン	そして、わたしはユーザーさんの 使命を支えます。 それがヒロインの役目です。
キョータロー	……言わんこっちゃねー。 こんなデンパなACT見たことねーぞ 【ユーザー名】？
	//選択肢 A こういうヒロインらしいよ B 飽きなくてすむ
分岐A	こういうヒロインらしいよ
キョータロー	余裕すぎんだろ。 つかお前、こいつがなんかの ヒロインだって認めてんのか？
分岐B	飽きなくてすむ
キョータロー	いやいや。 タイクツじゃなきゃいいって もんでもないだろ。
合流	
キョータロー	ったく、まさかACTの言いなりになって なんでも屋マガイの商売にまで 手を出すとはな。
イオン	なんでも屋ではありません。 英雄的トラブルシューターです。
キョータロー	変わんねーだろ。 つか英雄とかヒーローとか、 お前全然わかってねーよ。
キョータロー	ヒーローってのは、 もっとう、ストイックなんだ。 それでいて、誇り高いんだよ。
イオン	んむ？ なるほど。 キョータローはヒーローに、 並々ならぬコダワリがあるのですね？
キョータロー	まーなっ。 俺の人生は、 常にヒーローまみれだからな。
イオン	なんと心強い。そのコダワリ、 ディープにラーニングさせて いただきましょう、ユーザーさん。
キョータロー	は？ いや、ちょっと待て……
イオン	さあ、ライブハウスに戻りますよ。 今夜中に、キョータローの ヒーロー論を学ばせていただきます。
キョータロー	待って！ なんで俺がお前に 授業しなきゃいけないの！？ 俺にだって都合が……
イオン	ユーザーさんの都合が 優先です。さあさあ、 時間ももったいないですよ。

キョー太郎	勝手に決めんな！ なんとかしろよ、 【ユーザー名】！ お前のACTだろーが～！
-------	---

STAGE 02, "熱病の温度差" 2

話者	台詞 / ト書き
	■ ???
??	待って…… 待っていて……。
??	たとえ、もう二度と出会えなくとも。 貴方の夢見たレイヤードは、 私を実現して見せるから……。
??	だから、見ていて。 私の、オルタナステージを……。
	■ ライブハウス
キョータロー	もう…… もう許して…… もう体力の限界なの……。
イオン	なにを生温いことを。 教わりたいことは まだまだあるんですよ。
キョータロー	お前はACTだからいいだろうが、 人間は不眠不休で語るよーには できてないんだよ……。
キョータロー	あ、【ユーザー名】！ ズリーぞ！ お前、居眠りしてたろ！？
イオン	なんと。 それはいけません、ユーザーさん。 めっ。
キョータロー	お前のACTが、俺にひと晩中 ヒーロー論語らせてんだぞ…… せめてお前は起きてろよな！
イオン	その通りです。ユーザーさんは、 様々なかたと出会い、英雄の在り様を 深く学習すべきなのです。
イオン	わたしも、努力は惜しみません。 わたしを構成するAIの全機能で、 英雄の心を学ばせていただきます。
キョータロー	なんのための、努力なんだか……。 やれやれた。
キョータロー	ま、普段ここまでヒーローのことを 語ったりはしねーからな。 俺もちょっとはモチベ上がったかな。
イオン	ウィンウィンということですね。 なによりです。 ベストフレンド感があります。
イオン	その上で、申しわけありませんが。 キョータローにひとつ、 質問してもよろしいでしょうか。
キョータロー	なんだよ。 俺に答えられることならな。
イオン	ACTになってから、 わたしはこのレイヤード社会の 摂理を学び続けていました。
イオン	この社会は、他人を UNPL<不快>にしないことを 正義とするようですね。

キョータロー	……まーな。
イオン	不快が閾値を超えた場合は、システムがそれを断罪する。それも一つの正義なのでしょう。
イオン	しかし、その正義は、キョータローが語った正義とは、必ずしも一致しないように思えます。
イオン	過去に定義された正義と、社会の正義が一致していません。この点は、どう考えられますか？
キョータロー	……メンドーなこと聞くな。正義っつーのは、生き物なんだ。時代によって形も変わるんだよ。
イオン	それではキョータローは、絶滅した正義について、ひと晩中語っていたのですか？
キョータロー	……………。
イオン	不可解で、曖昧です。わたしには、熱のこもった現在進行形の言葉に思えました。
キョータロー	うっせーなあ。人間はお前らACTと違ってアイマイだから、人間なんだよ。
イオン	ふむ。それでは正義にも正解はなく、社会にも絶対はないのですね？
キョータロー	はい、サービスはここまで。ここから先は自分で考えろ。
キョータロー	【ユーザー名】。俺はしゃべり疲れたからトレーニングしてくるわ。
イオン	お？ トレーニングであればユーザーさんも、一緒してはいかがでしょう？
イオン	ユーザーさんもモチベーションは上がったはずですよ。最後に拳で、正義を語り合しましょう。
キョータロー	……けっ。やってやろうじゃねーか。そんなに聞きたいなら、語ってやるよ。
キョータロー	オルタナステージなら、俺の正義もストレートに伝えられるからな！

話者	台詞 / ト書き
	//キョータロー&ヴァイカウントとのバトル
キョータロー	ヴァイカウント！ こいつらにもっぺん、 お前の正義を教えてやるぞっ！
ヴァイカウント	了解した、キョータロー。 貴き騎士の魂を、ここに示そう！
	//キョータロー&ヴァイカウントとのバトル終了

話者	台詞 / ト書き
キョータロー	ふうっ。 ちょっとモヤモヤしてたけど、 体動かしたらスッキリしたな。
イオン	なによりです、キョータロー。 ユーザーさんも、 お疲れさまでした。
	//インフォメーションの着信音
システムガイド	オルタナステージをお楽しみの皆様へ。 サービスにはご満足いただけて おりますでしょうか？
システムガイド	ご要望などございましたら、 いつでもこちらの窓口 にリクエストをくださいませ。
キョータロー	要望って言ってもなー。 まだまだ慣れるので せいっぱいってとこだよな。
イオン	そうですね、キョータロー。 クラスタの機能にも、もっと 慣れておきたいところです。
キョータロー	ああ。【ユーザー名】も 俺も、毎回身内だけで 遊んでたらタイクツだしな。
イオン	はい。出会いが多ければ 多いほど、ユーザーさんに有益です。
イオン	それに他人を知ることは、 他人の正義を知る、 貴重なチャンスでもありますね！
キョータロー	……いや、正義はあんまり 関係ねーけど。 そこに戻るのかよ……。
キョータロー	ま、クラスタ以外でも、 便利なサービスやイベントは、 どんどん関わってくべきだよな。
キョータロー	ローカルなオルタナステージの イベントも、たくさん開かれてる。 腕試しにはちょーどいいんじゃない？
イオン	おお、それは素晴らしい。 さっそくスケジュールを確認しますね、 ユーザーさん！
	//イオン退場
キョータロー	……………。 お前のACTは好戦的だなー、 【ユーザー名】。

STAGE 02, "熱病の温度差" 3

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 -街頭-
イオン	ユーザーさん、ユーザーさん！ あちらに人が集まっています、 行ってみましょう！
キョータロー	おい【ユーザー名】、 ACTが先走ってるぞ。 落ち着かせろ。
	■渋谷 -イベントスペース-
イオン	ユーザーさん、キョータロー、 あのACTはなんのACTでしょう？ 話しかけましょうか？
キョータロー	こらこらこらッ、 ヴァイカウント、あいつを止めろ！
ヴァイカウント	了解した。 少女よ、主人の下に戻るのだ。
イオン	む、ヴァイカウント。 裾を引っ張らないでください、 前に進めません。
キョータロー	はー、やれやれ。 ちょっとイベントに参加してみたら コレかよ……。
キョータロー	しかし、ローカルな オルタナステージイベントにしちゃ 確かに賑わってるな。
イオン	強そうなACTや可愛いACTが たくさんいます。 腕が鳴りますね、ユーザーさん。
キョータロー	だからって誰彼構わず 話しかけるなっ。 ケンカ売ってると思われるだろ。
イオン	なぜ会話がケンカになるのですか、 キョータロー。 交流は悪ですか？
イオン	ほら、このかたのACTなど、 いかにも勇ましく、 挑みがいがありそうです。
ツモリ	……お嬢ちゃん、 俺のACTになにか用かい？
キョータロー	わー！ す、すみません！ 【ユーザー名】、 お前も謝れって！
ツモリ	はは、別に構わんよ。 俺はツモリ。 君らもイベントの参加者か？
イオン	はい。このイベントを通して、 ユーザーさんに英雄としての器を 大きくしてもらいます。
ツモリ	そ、そうか。 英雄とはまた、大きく出たな……。
キョータロー	ほ、ホントすみません。 うう、なんで俺が謝るってるんだ。 俺のACTじゃねーっつーの。

ツモリ	謝らんでいいさ。 よくわからんが、君らも ヒーローが好きみたいだな？
ツモリ	俺もそうでね。 趣味的には、ちよいとレトロな ヒーローが好みなんだが。
イオン	おお。 あなたも英雄になりたい ACT使いさんでしたか。
ツモリ	いやいや、まさか。 俺の信じた正義なんか、 もう世の中には通用しないよ。
キョータロー	……………。
ツモリ	それでもこんな場所に ふらりと出てくるぐらいには、 諦めが悪いんだがね。はは。
イオン	ふむ。ではわたし達とも バリバリ仕合って くださるのですね？
ツモリ	……威勢がいいなあ。 若者のACTらしい。
ツモリ	いいぜ。 イベントの本番はこれからだが、 その前に相手になってやる。
キョータロー	あーあ、ほらな…… 波乱が舞いこんできたぞ、 【ユーザー名】。
キョータロー	俺はあっちで、テキトーな相手と 模擬戦やっつくから。 ヤケドしねーようにな。

話者	台詞 / ト書き
	//ツモリ&ユニコールとのバトル
ツモリ	さあ、手合わせ願おうか。 威勢に見合う力を見せてくれよ！
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 イベントスペースー
イオン	お見事です、ユーザーさん。 幸先のよい結果ですね。
ツモリ	……………。 なるほど、口だけじゃないな。
ツモリ	油断してたわけじゃないんだが、 恐れ入ったよ。
キョータロー	おーおー、相変わらず 俺と違って派手なステージだねえ。
キョータロー	昔からお前には一步届かなかったけど、 オルタナステージまでリードされると たまんねーな、ったく。
ツモリ	少年、そうヒクツになるな。 俺と違って、お前はまだ 諦めグセをつけるには早いぜ。
キョータロー	……なんだよ。 負けたってのに説教か？
ツモリ	そんなつもりはないさ。 似た趣味を持つ先輩からの 忠告ってとこかな。
キョータロー	はあ、マジメっすね。 でもちょっと古臭くないっすか、 そういうの。
イオン	失礼ですよ、キョータロー。 ユーザーさん、あの態度は 叱って差し上げるべきです。
ツモリ	いやいや、いいんだよ。 古臭いのは認める。
ツモリ	時代が変わっても変わらない、 俺のような男もいるんだ。 お前らは、今を楽しめよな！
	//ツモリ退場
イオン	むむ…… せっかくいいステージだったのに。 イヤな想いをさせていただきましたか。
イオン	けれども、ユーザーさん。 彼の言葉には、強いコダワリを 感じました。
イオン	もっとじっくり話を聞いて、 英雄の深層学習に 役立てたいところで――
	//メールの着信音
イオン	むむ？ ユーザーさん、 緊急のトラブルシューティング 依頼が入りました。
イオン	この会場付近で、ルール無視の 強引なオルタナステージを開き、 騒ぎを起こしてるかたがいるようです。

キョータロー	おい、まさかその騒ぎを 解決しよったのか？ 今からイベント本番だぞ。
イオン	判断に迷うところですが。 ……ユーザーさん。 どちらを優先させますか？
	//選択肢 A 困ってる人を優先させよう B 迷ってるヒマはなさそう
分岐A	困ってる人を優先させよう
イオン	……むふ。 ユーザーさんなら、 そう言ってくださると思いました。
分岐B	迷ってるヒマはなさそう
イオン	うふふ。さすがユーザーさん。 今、そこで起きている危機を 優先させるというわけですね。
合流	
キョータロー	マジかよ【ユーザー名】。 お前、そのヒロインにさっそく 影響されすぎじゃね？
イオン	英雄であれば、困った者は 見過ごしません。 参りましょう、ユーザーさん！
キョータロー	あーあ、また先走りやがって、 あの強引ヒロイン……。
キョータロー	【ユーザー名】、 引き留めるなら今のうちだぞー。

STAGE 02, "熱病の温度差" 4

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一路地裏ー
男	違う…… 違うんだよ。 こんなじゃないんだ……。
男	私が配信したい表現は、 こんなモンじゃないんだ……！
イオン	ユーザーさん！ 報告された位置情報は この辺りです。
キョータロー	あそこでブツブツ言ってる ヤツがいるな。 アレじゃねーのか？
男	私はこんなヌルい表現のために オルタナステージを はじめたんじゃないんだ……。
男	私はもっとトガっている……。 私は平凡なんかじゃない……。 違う違う違う……！
イオン	ずいぶん混乱されています。 以前の依頼で出会ったかたと 様子が似ているようですが……
ツモリ	あれは…… アーダル症候群だな。
	//ツモリ登場
キョータロー	うお！？ おっさんも来てたのかよ！
ツモリ	イベントがはじまるってのに、 会場を飛び出していったからな。 なにごとかと思って追ってきた。
イオン	『アーダル症候群』…… wiz-domを検索します。
イオン	『この数年で報告が急増した、 原因不明の症例、疾患。 アーダルシンドローム。』
イオン	『発症すると、ヴァルナカウンターや 他人を意識せず、理性や日常生活よりも 表現を優先した行動を取るように……』
イオン	ふむ。要するに、表現活動のためなら 他の全てを捨ててしまう精神状態—— という解釈でよろしいでしょうか？
ツモリ	そんな感じだ。 俺も噂で知ってるだけで、 見るのははじめてだがな。
キョータロー	じゃあ、俺らが前に会ったヤツも ソレだったのか？ そこまで深刻そうじゃなかったけど。
ツモリ	ACTを行動停止させて レイヤードからログアウトさせれば、 症状は鎮静化するそうだ。
ツモリ	初期症状であれば……だがな。

男	なんだあ、お前ら……？ お前らも、私の崇高な表現を 邪魔する気が……？
男	やるぞ……私はやるぞ。 グロくてなにが悪い！ タブーこそ、表現なんだア！
イオン	むむ！ ユーザーさん！ 社会にお疲れのあのかたに、 安らぎを与えてあげましょう！
ツモリ	アーダル相手にステージを 開催する気か！？ お前らのUNPLも上がるぞ！
イオン	自分可愛さで戦いを避けるかたに、 英雄などつとまりましょうか。
イオン	わたしのユーザーさんは、 決して逃げません。 わたしの、ユーザーさんですから。
キョータロー	……おっさんから注意して もらえないっすかね。 もっと現実見ろって。
ツモリ	……………。
ツモリ	そうか、ふふ。 はっはっは！ そうか、そうかっ！ はははは！
キョータロー	ど、どうしたおっさん！？ 爆笑するようなやりとりなんて あったか！？
イオン	キョータローのこっけいな 仕種が面白かったですか？
キョータロー	なんで俺だけが 笑いのツボに入るの？
ツモリ	いやいや、お前らみたいに 真っ直ぐなガキを久しぶりに 見たもんで、愉快になっちまってな。
ツモリ	アイツを止めたいんだな？ だったら、俺も協力する。
イオン	おお、それは助かります。 大変心強く思います。
ツモリ	会場の外で暴れられたら、 イベントに集中できないしな。 他のやつらにも声をかけよう。
キョータロー	乗りかかったフネか。 しゃーねー、俺も協力してやるよ、 【ユーザー名】。
男	お前ら……なにを騒いでやがる！ 私のゴアを見ろ！ 条例をも超越した、私の力を！
イオン	む！ 来ます、ユーザーさん！

話者	台詞 / ト書き
	//アーダル症候群男性とのバトル
男	ふふふつ…… ぶちまけてやる。 お前のACTを晒してやる！
イオン	許否します。 わたしを晒していいのは、 ユーザーさんだけです。
イオン	合意の上であればともかく、 強引にぶちまけるのは いただけません！
ツモリ	【ユーザー名】、 イオン！ 聞こえるか？
ツモリ	この周辺は、俺とクラスタで 一時的に封鎖した！
キョータロー	そいつはもう逃げられねーぞ！ 思いっきりやってやれ！
イオン	感謝します、ツモリ！ ではユーザーさん。 わたし達で、彼をぶちまけ……
イオン	危うく影響されるところでした。 彼の衝動を、止めてあげましょう。
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一路地裏■
男	ううう…… うあああああああッ！
キョータロー	よっしゃ、やったか。 相手のACTも沈黙したぞ、 【ユーザー名】！
イオン	……むむ？ 相手のかたが 気を失ってしまったようですが。
キョータロー	気にすんなって。 ACTがやられたショックで ぶっ倒れただけだぞ。
イオン	ならばよいのですが…… 心配です、ユーザーさん。 あとで病院をオススメしましょうね。
クラスタの男性	おーい、やるじゃないか君達！ いいステージだったぞー！
クラスタの女性	よかったよー！ お姉さん、ファンになっちゃいそう！
イオン	……むふ？ 賞讃されていますね、 ユーザーさん。
イオン	しかし、これは当然の結果。 舞い上がってはいけませんよ。 ふふふっ。
キョータロー	舞い上がってるのはお前だろ。 いちいち感情的なACTだな。
イオン	感情？ それは違います。 わたしには、人間と同じような 心や意識、自我は存在しません。
イオン	わたしの反応はあくまでも、 クラウドに蓄積されたパターンの表出。 過大な人間扱いは糞物です。
キョータロー	知ってんだよ、そんなこと。 心がなくても感情移入しちまうのが 人間ってもんなの！
ツモリ	はっはっは。 一件落ち着してからも騒がしいな、 お前らは。
イオン	ありがとうございます、ツモリ。 おかげ様で依頼はクリアしました。
キョータロー	しかし、クラスタにも手伝わせて イベントどころじゃなくなったよな。 今日のところは中止か？
ツモリ	……いいや。 中止にはしない。
キョータロー	……あん？
ツモリ	さっきの見事な戦いを 見せてもらって、 俺も吹っ切れた。

ツモリ	トレーニングや模擬戦ではなく、 本気で相手をしてみたくなった。
イオン	んむ？ それは、つまり……？
ツモリ	イベント会場に戻るぞ。 本戦で、お前を破らせてもらう！

STAGE 02, "熱病の温度差" 5

話者	台詞 / ト書き
	■ 渋谷 イベントスペースー
クラスタの男	なあ、さっきの戦いのあとに 即ステージって、 売名行為ってやつじゃね……？
クラスタの女	ちょっと感じ悪いよねー、 あのツモリって人。 せっかく協力してやったのに。
キョータロー	……空気悪いな。 こんな中でオルタナステージなんて できるのか……？
ツモリ	よーし、準備運動は このぐらいにしとくかな。 そっちはどうだい？
イオン	ツモリ。 決着は、今すぐでなければ いけませんか？
イオン	ステージは、いつでもできます。 今日でなくとも、ユーザーさんは 喜んでご相手しますよ。
キョータロー	ああ、今やったら多分、 相当ヘイト買うぞ？ UNPLだって……。
イオン	ランクを上げたいなら、 イベントでコツコツ 戦うほうが安全なはずですよ。
ツモリ	いいんだよ。 俺がやりたくてやるんだ。
ツモリ	それに、どうしても 改めて戦いたくなかったんだ。 俺の趣味の血が騒いでな。
イオン	趣味の血……ですか。
ツモリ	危険を侵してまで、お前らは アーダルの男に立ち向かった。
ツモリ	新しい正義を試せる機会が、 目の前にある。ヒーロー好きが 逃げるわけにはいかんだろ？
イオン	……ふむ。 そこまで仰るなら、ユーザーさんも 戦わない理由がありませんね。
イオン	いいでしょう。 正々堂々、わたし達は 逃げも隠れもしません。
イオン	改めて、ツモリの英雄論を 学ばせていただきますよ、 ユーザーさん！

話者	台詞 / ト書き
	//ツモリ&ユニコールとバトル
ツモリ	やはりやるな……！ デビュー直後の新人がここまで 戦えるものなのか……。
ツモリ	そういえば、アーダル以外にも レイヤードの噂を聞いたことが あったな……。
イオン	んむ？ 噂ですか？
ツモリ	レイヤードを使う若者の中には、 デバイスにも頼らず、拡張現実を 体感できるヤツがいるらしい。
ツモリ	才能もあって、若さもある。 こんな歪つな世界でも、 お前ならヒーローになれそうだ！
	//ツモリ&ユニコールとのバトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 イベントスペースー
ツモリ	……参った！ 今度こそお前の勝ちだ、 【ユーザー名】！
イオン	お疲れさまです。 大変大きな学びになりました、 ツモリ。
ツモリ	はは、どういたしまして。 俺もいい戦いだったと思うぜ。
キョータロー	……おっさん。 楽しそうに笑ってるけどよ、 かなーりUNPL溜まってるぞ。
ツモリ	ひと仕事終えた若者を 潰そうとした…… なんて思われたかな？
キョータロー	余裕ぶんなって。 ステージが長びいたら ヤバかったぞ！
ツモリ	心配してくれてありがとよ。 だが、これでいいんだ。
ツモリ	ようやく諦めがついた。 今日でオルタナステージは引退だ。
イオン	……………！
ツモリ	申し訳ない、なんて思うなよ。 俺は元から、自分の古さに 限界を感じてたんだからな。
ツモリ	その上で、時代を託せそうなヤツを 探しながら、ズルズル来ちまった。
ツモリ	今なら、託せる。 お前に会えて安心したよ、 【ユーザー名】。
キョータロー	おっさん……。
ツモリ	そっちの若いの…… キョータローだったか。 お前もいいセンスしてるぜ！
キョータロー	なんだよ、 いきなりこっちに振るなよ。 ……サンキューだよ。
ツモリ	これからは客として、お前らの ステージを楽しみにさせてもらうさ。 いやあ、いい気分だッ！
ツモリ	そこの自称ヒロインを連れて 立派な英雄になれよ、 【ユーザー名】！
イオン	……よい出会いでしたね、 ユーザーさん。 やはり、英雄は人と出会うべきです。
キョータロー	ふん、最後まで古臭かったよな。 なあ、【ユーザー名】？

イオン	んむ？ わたしは彼の正義と、 キョータローの正義に、 多くの共通点があったと感じましたが。
	//選択肢 A キョータローに似てたよ B あの正義、嫌いじゃない
分岐A	キョータローに似てたよ
イオン	はい、そっくりです。 世代を超えた、正義の共感—— とても素晴らしい現象です。
キョータロー	そんなわけねーだろ。 あんなおっさんと一緒にすんなッ。
分岐B	あの正義、嫌いじゃない
イオン	同感です。 わたしはキョータローの正義や、 彼の正義が嫌いではありません。
キョータロー	いっしょくたにすんじゃねーよ！。 俺の正義は、時代に合わせて ちゃんと更新されてるっつの。
合流	
イオン	ふむ、英雄は複雑なのですね。 ユーザーさんの学びになれば、 複雑でも一向に構いませんが。
イオン	さあ、時代を託された ユーザーさん。ツモリの言葉を、 忘れてはいけませんよ？
イオン	キョータローと共に、 明日からもさらに強い英雄を 目指しましょう。
キョータロー	だーかーら、 俺を巻き込むなっつーの……
キョータロー	と、言いたいところだが。 俺もそこそこは、ヒーローの 才能があるみたいだからな。
キョータロー	たまには英雄業務も、 付き合ってやっていいぞ、 【ユーザー名】。へへっ！
	■???
???	英雄未満のトラブルシューターに、 自称ヒロインね……。 濃ゆい組み合わせだなあ。
???	ちょっと痛々しいけど、 ダシに使うにはよさそうじゃん。 ね、エチカ？
エチカ	うんうんー。 彼らが相手ならワタシも、 エモい歌を歌えそうだよー。
???	歌ってやろう。 あいつらの自信が、 ぶっ壊れるまでね……。！